

SG講演会①

日 時 平成28年4月13日（水）5校時（14:05～15:05）の後半
場 所 丸亀高校 第2体育館
対 象 丸亀高校 1年生281名、教員17名
講 師 富士川 貴 氏 （丸亀市役所 市長公室 政策課 副課長）
演 題 「地域の現状・課題・対策を学ぶ」

内容等

丸亀市のシンボルである「丸亀城」をはじめ主要な観光スポットや施設、特産品の紹介に続き、現在、日本社会が直面している「人口減少」について、丸亀市の策定している「人口ビジョン」と「丸亀市未来を築く総合戦略」について、「地方創生」をテーマとした課題研究へのアドバイスについてなど、これから「地方創生」をテーマに課題研究に取り組む生徒にとって、示唆に富んだ講演であった。

日本では、「少子高齢化」が世界最速ペースで進んでいるため「地域経済の減退」「行政サービスの低下」「経済的負担の増大」「都市の機能不全」「世代間格差の拡大（若い世代、将来世代の負担増）」などが懸念されており、丸亀市においても同様である。特に、10人の高齢者を何人かで支えるかについては、2015年には44名であるが、2060年には28名で支えることになることと予測されていることに生徒は驚きを感じたようである。そして、丸亀市が、その対策として、自然増・社会増を目指すことで、「人口減少に挑む」、また、魅力・安心を高めることで「人口減少に備える」こと政策として上げており、人が減ってもいきいきと暮らせる安心のあるまち、人を減らさず明るい未来を目指す活気のあるまちを創るために力を注いでことを知り、行政の存在や働きを意識したようである。

「地方創生」へのキーワードとしていただいた「地域包括ケアシステム」「6次産業化」「ローカルイノベーション」「海外インバウンド」「地方大学の活性化」「ローカルからグローバルへ」や「女性の活躍」などは、生徒にとって「地方創生」を考える際の指針となったようである。



生徒の主な感想

- ・丸亀市の現状を知ることができた。 ・行政はいろいろと大変そうだなと思った。
- ・身近なことなのに、知らないことが多くあってびっくりした。
- ・少子高齢化の具体的な問題点とそれに対して市が行っている取組がよく分かった。
- ・日本や丸亀市の人口がどんどん減少しているということに少し恐怖を覚えた。
- ・いろいろな町おこしをして頑張っているのだなと思った。
- ・もしかしたら、世界のいくつかの地域でも取り上げられているのではと思った。
- ・未来のために努力していることがすごいと思った。
- ・地方創生のためには、地域のことを知ることが大事だなと思った。
- ・自分の住む町にもっと関心を持たなければならない。
- ・丸亀市の特徴を生かした対策を練っていくべきだなと思った。
- ・私に今何ができるかを考えなければならないと思った。
- ・いかなる課題でも住民1人ひとりの意識の向上が求められると思った。
- ・地域の活性化のためには多くの人の協力が必要だなと思った。
- ・より多くの視点から課題が見えるように、もっとたくさんのことを知らなくてはいけないと思った。
- ・グローバルに活動ができるようになるために、英語が大事だということを改めて実感した。

